



HOME

組織・概要
About RCAST研究活動
Research産学官連携
Industrial Partnership教育・社会貢献
Education国際活動
International Activities

研究者プロフィール

サイトトップへ



教授

児玉 龍彦

Professor KODAMA, Tatsuhiko

システム生物医学

E-mail kodama@lsbm.org

Office 4号館3階

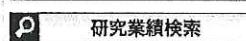
Tel 03-5452-5230

FAX 03-5452-5232

Link [システム生物医学ラボラトリーのサイトへ](#)

| | |
|----------|----------------------|
| 1977年3月 | 東京大学医学部医学科卒業 |
| 1977年4月 | 東大病院内科医師 |
| 1979年5月 | 東京都立駒込病院医師 |
| 1985年4月 | マサチューセッツ工科大学生物学研究員 |
| 1989年10月 | 東京大学医学部助手 |
| 1996年4月 | 東京大学先端科学技術研究センター教授 |
| 2002年4月 | 東京大学先端科学技術研究センター特任教授 |
| 2004年4月 | 東京大学先端科学技術研究センター基金教授 |

- 入学希望の方へ
- 入試について
- カリキュラム
- 奨学制度
- 専攻説明会開催案内



先端研の研究者に関する情報をキーワード検索出来ます。

検索フォーム



研究分野:

がんや生活習慣病の薬を設計する新しい技術を開発しています。ヒトゲノム解読のあと、健康と病気をコントロールしている標的タンパク質がわかつきました。我々は、細胞表面の「膜」のタンパク質と、遺伝子制御にかかわる「核内」の標的タンパク質を発現して、結晶化し、スーパーコンピューターを使ってダイナミックな計算から薬を設計しています。特に、ゲノムが修飾されて「記憶」を作っているエピゲノムという仕組みがわかつきました。このエピゲノムにかかるヒストンを修飾する酵素と、その修飾をよむリーダータンパク質の相互作用に関わる薬の開発を作っています。

関連記事:

- 「プレスリリース:がんの再発・転移治療薬の開発用スーパーコンピュータシステムが稼働」
- 「RNAの生成過程の動的観測から新たな発見」
- 「RNAの生成過程に関する新たな発見をScience誌がEditor's Choiceで紹介」

[サイト内関連ページを表示](#) サイトマップ プライバシーポリシー サイトポリシー アクセシビリティ 所内情報はこちら

Copyright (c) RCAST, The University of Tokyo